

## 社民党



### 石川ひとみの略歴

1969年 3月 県立秋田北高校卒業  
その後、合成洗剤造り運動、戦争への道を許さない女たちの会、コミュニティユニオンなどへの参加を通じて、社会的な活動を展開してきた

2003年 4月 秋田市議会議員に初当選  
2007年 4月 県議会議員に初当選  
2015年 4月 県議会議員3期目当選  
総務企画委員  
がん対策推進議員連盟  
観光産業振興議員連盟

## 地上イージス 配備反対!

- がん患者医療用補正具助成事業実施(2017年8月)
- 児童福祉の新複合化相談施設を設置(2022年度併用開始予定)
- 動物愛護の発信拠点  
「ワンニャピアあきた」開設(2019年4月1日)

### 1 平和憲法を守る

いのちとくらしが最優先。平和憲法を守り、戦争には絶対反対します。

### 2 女性の活躍

女性の生き方・働き方を支援する体制づくりをめざし、人口減少社会に対応します。

### 3 地域の安全・安心

秋田県の社会インフラを点検し、災害に強い安全・安心な街づくりをめざします。

### 4 雇用の創出

安定した生活を実現するため、雇用の創出し、賃金改善と長時間労働の解消をめざします。

### 5 教育の充実

子どもたちに向き合う時間をつくるため、教職員の多忙化解消に努め、教育の機会均等に力を注ぎます。

# 「いのちとくらしが最優先!」



社民党公認  
**石川ひとみ**

## たけした博英の基本政策

### 雇用促進

農産など地場産業の育成や、成長産業に特化した企業誘致で雇用を促進し、障がい者の雇用促進にも全力で取り組みます。

### 農業振興

秋田県の農畜産物を「安心で安全」ブランド化し、生産拡大で農業の所得向上を目指します。

### 福祉の充実

お年寄りへの敬意を基本に、介護福祉の質の向上に取り組む。

### 救う!

自殺予防対策  
自殺率全国ワーストワンの返上を先頭に立って目指します。

### 全ての子どもを幸せに

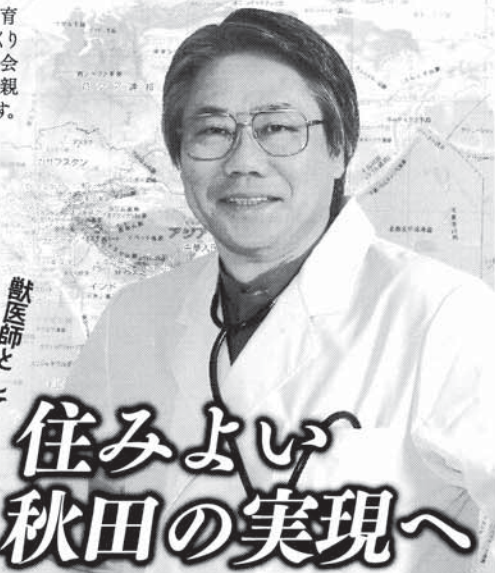
安心して子どもを産み、子育てしながら働ける環境づくりに取り組みます。さらに社会的養護の質の向上と里親制度の普及促進に努めます。

### 災害に強い郷土

近年頻発する地震・台風・洪水などの自然現象に対し、治山・治水を中心に災害に強い郷土をつります。

### 殺処分ゼロへの積極的取組

人にも動物にも優しい社会をつります。まずは、平成31年度オープン予定の動物愛護センターを拠点として、殺処分「ゼロ」を目指します。



# 住みよけ 秋田の実現へ



自民党公認  
**たけした博英**

# 人が生き活きと暮らし続ける秋田創出!!

## 誠実一路!!

### 松田とよおみ プロフィール

1958年 北海道函館市生まれ  
1977年 北海道函館東高校卒業  
1981年 創価大学経済学部卒業  
1981年 ジャスコ(株)(現イオン(株)入社)  
2003年 マックスバリュ東北(株)に転籍  
2011年 マックスバリュ東北(株)退職  
2011年 秋田市議会議員初当選  
2015年 秋田市議会議員2期目当選

### 公約1 防災・減災による安全・安心を構築します!!

激甚化、頻発化する大雨災害等の自然災害に対し、ハード面の防災・減災対策を進めるとともに、タイムライン(防災行動計画)や地域における防災計画等の推進をはじめ、ソフト面の対応・体制を整備し、秋田の安全・安心を構築します。

### 公約2 生活の豊かさの実現を目指します!!

人口減少及び超高齢化を克服するため、地域社会の担い手となる人材を確保し、育成します。そして、秋田の豊かな自然や文化、住みやすい環境を最大の強みとした産業振興と、生活の豊かさを目指します。

### 公約3 共生社会を構築します!!

女性や若者、高齢者、障がい者を含む地域住民一人一人が差異を認め合い、尊重し合う共生社会を構築します。



公明党公認  
**松田とよおみ**



# 住みよい秋田 住みたい秋田

## 人口減少に歯止めを!

### 秋田への移住・定住を強力に推進

急激な人口減少という極めて重要な課題を抱える秋田が、その課題に果敢に取り組み、社会の活力を保つために、移住・定住はこれからの秋田に不可欠な政策です。

## 雇用の場の拡大

求職者の多様なニーズに応えるために、IT産業、自動車や航空機関連のような先端産業、高度な知識や技術が要求される試験・研究・開発機関などの立地を進め、若い人々を県内に残し、進学・就職のため都市部に出て行った人々を秋田に呼び戻す、あるいは呼び入れます。

## 農林業の振興

米を主要産物としつつ、メガ団地の造成などによる農業の複合経営化をさらに進め、経営規模の改善を図り、販売戦略を立てて、魅力ある農業・産物を確立します。日本一の保有量を誇る杉の人工林の活用を進めるため、林内路網の整備等生産コストの低減を図り、国産材時代をわが秋田県が、秋田杉がリードしていきます。

## 教育・スポーツの振興

わが県の子供たちは優秀です。全国学力テストは常に全国トップクラス、これは全国に先駆けて少人数学級、チームティーチングなどを推進してきた成果です。これをさらに推し進め、その枠を高校にも拡大し、国の教育無償化より一歩進んだ教育環境を作っていきます。スポーツは県民に活力、勇気、感動、喜びをもたらします。県民の誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり、これは健康寿命日本一の実現につながります。

## 福祉の充実

全国的に見ても見劣りしないわが県の子育て支援策をさらに充実させ、若い人々の子育てにかかる経済的負担を軽くし、産み育てやすい環境を構築します。健康寿命日本一を実現する各種取り組みを進め、日本一の高齢者県であるわが県が、日本一健康な高齢者県になることを目指します。

## 社会基盤の整備

高速道路のミッシングリンク(未開通部分)の1日も早い解消、老朽化した橋やトンネル等インフラの再整備、気候の変動により多発する自然災害への防災対策等、強靱な県土の造成は、産業活動と安全・安心な社会生活の基盤です。



自民党公認  
**北林こうじ**



秋田県議会議員一般選挙  
(秋田市選挙区)

# 選挙公報

平成31年4月7日執行  
秋田県選挙管理委員会

38歳  
東大卒のITマン  
よそ者  
わか者  
わか者  
わか者



～とまべち竜也のプロフィール～  
1980年東京都生まれ、青森県育ちの38歳。  
東京大学大学院工学系研究科を修了後、  
IT系ベンチャーや大手IT企業を経て、  
平成28年に秋田へ移住。  
IT系活動の他に農業分野にも着手。  
その他アイデアマンであることを活かし、  
多方面でITコンサルタントとして活動中。



## ひらけ、アキタ!

約3年前に秋田へ移住してきた私にとって、秋田は気候も穏やかで豊かな食文化があり、とても魅力的な土地だなと感じています。しかし秋田も例外がなく、人口の減少や産業の衰退といった地方が抱える問題と向き合わなければなりません。  
このような状況において、変化を恐れて何もやらずに指をくわえている場合ではありません。秋田の特色や良い所は残しつつ、私と一緒に少しずつ現状を打破していきませんか？

# 脱 現状。



とまべち  
たつや  
竜也

知恵と工夫で  
どんどん実行!  
活発なまちづくり!

大きな変革には予算も時間もかかります。しかし知恵と工夫次第で、予算なくともできる変革だってたくさんあります。そんな変革をたくさんスピーディに積み上げることで、秋田を少しずつ変えていきましょう。私と一緒にアイデアを考えてみませんか!

地方ならではの  
IT産業を確立!  
雇用と産業の創出!

地方にとってIT産業は可能性の宝庫であることは間違いありません。ただしそれが成功するのは、地方の強みを活かした"地方ならではのIT産業"を確立できてこそ可能だと思います。長年の経験からITの知識・知見に長ける私に任せてくれませんか!

移住促進は近県に  
強いライバル不在!  
人口減少に歯止め!

移住促進については現在でも一定の評価をされていますが、それも東北内での話であり、他の地方に比べるとまだまだなのが現状です。先に進んでる地方をうまくなして、移住者にとって秋田を東北でぶっちぎりに魅力的な地域にしてみませんか!

# 「未来の秋田に」つなげる。

秋田県議会議員候補  
自民党公認



昭和47年秋田市生まれの46歳  
プロフィール 故 今川敬三、故 礼子の長男として秋田市に生まれる。子供5人の子育て中。秋田経済法科大学法学部卒業。秋田市議会議員2期を経て、現在秋田県議会議員(1期目)  
党務 ●自由民主党秋田県秋田市第十二支部支部長  
関係団体 ●秋田市立秋田商業高等学校硬式野球部後援会会長  
●秋田市ソフトボール協会会長  
●秋田県アイスホッケー連盟会長  
●秋田県社会人バドミントン連盟会長  
●日本テニスボール協会秋田県連盟会長  
●秋田県ソフトボール協会副会長

秋田県の底力。次の世代につなげる秋田県の創生。

- ◆秋田の地域性を踏まえた子育て支援の充実
- ◆元気な長寿社会の実現に向けた福祉の充実と健康づくりの推進
- ◆県・市連携による持続可能な公共施設の統合整備
- ◆歴史や伝統・文化を継承した教育の充実
- ◆「スポーツ王国・秋田」の復活に向けた「スポーツ立県・秋田」の推進
- ◆秋田県農・林業の持続的発展を図るための施策の推進

# 今川ゆうさく



# 今川 ゆうさく

高すぎる  
国保税の  
引き下げ

くらしを守ります  
消費税10%  
中止を

9条改憲許さない  
ミサイル基地は  
いらぬ

安倍政権への  
痛打の1票は

市民と野党の共闘に力をつくします  
加賀屋  
ちづ子へ

財源はあります  
自由に使え  
円を活用すれば  
可能です

みなさんと力を合わせ  
実現しました

- 中学卒業まで医療費を無料に(所得制限有り)
- 保育料が無料に(所得制限有り)
- スクールソーシャルワーカーを4人から10人へ
- 県の特別支援学校へのエアコン設置が決定
- 豪雨災害では国会議員と連携し「激甚災害指定」に

●正規雇用を増やす  
中小企業への支援を強めて正規雇用を増やし給料引き上げを農産物の価格保障と所得補償を種子法の条例制定を

●若者の定住を増やす  
介護士、保育士の待遇改善を。中小企業を支援し、最低賃金時給1000円以上に

●介護保険の負担を軽く  
保険料・利用料の軽減と減免制度の拡充を

●高すぎる国保税の引き下げ  
全国知事会要望の1兆円の公費投入で、サラリーマン並みに

●高校卒業までの医療費無料化  
学校給食費を無料に。学校にエアコン設置を

●みなさんの願い実現に全力  
高すぎる国保税の引き下げ  
全国知事会要望の1兆円の公費投入で、サラリーマン並みに

●高すぎる国保税の引き下げ  
全国知事会要望の1兆円の公費投入で、サラリーマン並みに

●高すぎる国保税の引き下げ  
全国知事会要望の1兆円の公費投入で、サラリーマン並みに



日本共産党  
かがや  
加賀屋  
ちづ子



## 真っ直ぐな心と、汗と涙で培った エンジニア経験、無欲さで挑戦!

安らげる秋田、  
みのりのある秋田、  
ふるさと帰住できる秋田に。

実質賃金増を  
ボランティアの精神で実現。

地域インフラの再生。  
近年増加の自然災害の  
早期復旧。

健康長寿日本一への努力。

温故知新。  
秋田の魅力を活かしながら、  
斬新さも兼ねた街づくりを。



鈴木ともひろ

職歴  
H6 首都高速道路公団勤務  
H10 掃部し、県内建設系・IT系企業勤務  
H26 NEXCO東日本 東北支社、  
国土交通省 東北地方整備局  
各管内勤務

学歴  
秋田高専-慶大



秋田県議会議員一般選挙  
(秋田市選挙区)

# 選挙公報

平成31年4月7日執行  
秋田県選挙管理委員会



## 見ていただきたいのは 行動力。

私は  
こう考える

知識、経験、持ち前の  
リーダーシップを武器に、  
秋田を前に進めます。

# 鳥井おさむ

秋田は良くなる。鳥井が先を行く。

昭和42年生まれ 働き盛りの51歳。  
日本体育大学体育学部卒業。  
高校から社会人の19年間、ラグビーに励む。  
社会人ラグビーチームで主将を4年経験。  
秋田市議会議員を3期12年務める。

### 秋田が抱える宿題への答

- 若者の県内就職率低下**  
県民参加型「秋田ポジティブキャンペーン」を企画し郷土の魅力再認識。
- インバウンド(訪日外国人旅行)の推進**  
SNSをフル活用し秋田の持つ魅力を強気でアピールしていく仕組みを作る。
- エネルギー産業の発展・雇用創出**  
地の利を活かしたエネルギー産業の発展・雇用の創出を自身の知識と経験をもとに主導。
- 人口減少・雇用支援**  
「秋田市アンダー40正社員化促進事業補助金」(秋田市施策)制度を県全体に拡充。
- 高齢者の幸せ追求**  
閉校した校舎を活用した場所づくり。地域コミュニティを活発化させる土台を作る。



# 鳥井 おさむ

とりい

## 共に、進む。

「できるか、できないか」ではなく、  
「どうすればいいのか」を考えたい。  
前を向き、進む姿を子どもたちに見せたい。  
子どもたちが夢を持てる秋田をつくるために。

34歳  
やすひと

# うさみ康人

うさみ康人の最新情報発信中！ <http://yasuhi10.com>



宇佐見 康人プロフィール  
1984年4月2日生まれ、34歳。前秋田市議会議員、土崎南小学校(剣道部主将)、将軍中学校(野球部主将)、秋田西高等学校(野球部投手)、秋田経済法科大学(第一ノースアジア大学)法学部、父親が経営する株式会社宇佐見経営に就職後、27歳で独立。起業家支援、地域活性化事業に携わり、夢を応援するためのプレゼン集団「秋田夢会議」の代表。

### 夢ある秋田をつくりたい。

- 1. 未来への投資**  
人口減少対策を進める上で、子ども・子育て施策は欠かせません。子どもたちが笑顔でいられるように、積極的に投資します。
- 2. 産業振興**  
人口減少対策として所得向上、職の質向上が大切です。中小企業への支援や小さな芽を育てていく取り組みを進めます。
- 3. 港湾振興**  
かつて東北一の賑わいを魅せた土崎港(現・秋田港)を取り戻すため、物流拠点、交流拠点としての機能強化を進めます。
- 4. 医療福祉**  
高齢になっても、元気に暮らすため、40代からの健康寿命延伸対策を進めるとともに、安心で楽しいまちづくりを進めます。
- 5. 農業振興**  
法人化などを進めながら、県産のブランド化、特色ある産品や六次産業化の推進などによって、小規模農業の発展を支援します。
- 6. 政治行政改革**  
政治の信頼を取り戻すため、情報公開を徹底し、住民参加を進め、政治って面白いと思ってもらえるように取り組んでいきます。



# うさみ やすひと 康人

鈴木けんた / プロフィール

- 43歳 小学生4子の父
- 京都大学法学部卒業 元陸上自衛官
- 秋田県防衛協会 事務局長
- 自民党秋田県連 広報委員長兼青年部長
- 秋田県エアロビック連盟 会長
- 駅東半燈会 顧問
- 秋田市消防団 城東分団員
- 広面小学校PTA副会長
- 城東中学校PTA副会長
- 東部地域振興発展連絡協議会 顧問
- 広面商工振興会 事務局長
- 広面地区体育協会 理事
- 駅東夏祭り 顧問
- 秋田県議会防衛議員連盟 事務局長
- 秋田県議会トラック輸送振興議員連盟 事務局長
- 日本バーテンドー協会秋田支部 顧問
- スペシャルオリンピックス日本・秋田 顧問
- 広面野球スポーツ少年団親の会 会員
- 広面女子ミニバス少年団親の会 会員

鈴木けんたのオフィシャルHPはこちら  
<http://suzuken-akita.com>  
鈴木けんた 検索

## 秋田は、変えられます。

- ・高齢者人口の増加が数年内にストップし、ピークを過ぎる
- ・第4次産業革命が進み、少ない人数でも産業を維持できる時代になる
- ・立地を選ばない情報産業が経済の主役となる(秋田で世界の仕事ができる)
- ・世界の人口爆発で、農業県・エネルギー生産県の地位は向上する

## これからの秋田は チャンス到来!

- ▶ 急速に変化する世界の中で、技術革新を他県に先んじて取り入れ、「最先端の田舎」をめざします。
- ▶ 10年後には右図のような秋田を実現し、お年寄りが暮らしやすく、若者が夢を持てる「新しい秋田」をつくる。それが私の使命です。



# 鈴木 けんた

すずき

自由民主党 公認

## これまで、これからもやります!! 私の決意

国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計では、2045年の本県人口は約60万人とされ、2015年から40万人減少する推計となりました。人口減少は避けては通れない道ではありますが、決して悲観することなく、減っていく姿に合わせた秋田を創造しつつ、必要な対策に知恵を絞ることが肝要と考えています。

秋田の強みをインバウンド(観光)や農業、産業などに結びつけ、教育・子育て環境の充実を図って若い世代につなげていかなければなりません。モノの多様性と柔軟な発想に着目し、「新しい秋田」を創るという覚悟で邁進していきます。

今後とも皆さまのより一層のご指導、ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

しげと  
三浦茂人の略歴

昭和33年	秋田市外堀川生まれ	平成23年 4月	秋田県議会議員 初当選
52年	秋田県立秋田南高等学校卒業(13期)	27年 4月	秋田県議会議員 2期目
56年	青山学院大学経済学部経済学科卒業		現在に至る
	秋田銀行入行		
平成16年 3月	御所野ニュータウン支店長	現在	秋田県議会福祉環境委員会 委員長
18年 8月	本荘駅前支店長(現本荘東支店)		議会運営委員会 委員
21年 3月	審査部次長を経て22年6月退職		会社役員

秋田の未来を  
つくり隊!!

県民目線で  
がんばります!

- 元気の源、中小企業の振興**  
雇用を創り、強みを生かす元気な中小企業の支援  
事業承継のマッチングを支援していきます
- 秋田の礎、農林水産業の推進**  
担い手の育成、6次産業化を推進します  
攻めの農林水産戦略で世界ブランドを目指します
- 魅力発信、秋田の観光資源**  
交流人口・関係人口・経済人口の拡大  
地域資源(秋田犬・クルーズ船など)の更なる磨き上げ
- 少子化対策・子育て支援**  
結婚・出産・子育て環境の充実  
若者の県内定着を推進します

みなさんのために  
是非々々で  
邁進します!



# みうら 三浦しげと



秋田県議会議員一般選挙  
(秋田市選挙区)

# 選挙公報

平成31年4月7日執行  
秋田県選挙管理委員会

## 未来への責任。 沼谷 純8つの約束

ゼロから政治の世界に飛び込み、まもなく8年。  
政治は、助けや支えを必要としている人たちのためにこそある、  
その一心で走り続けてきました。  
一人の父として、一人の人間として、そして一人の政治家として、  
今を生きる私たちのためだけではなく、子どもや孫、  
次の世代のために何を残し、何を引き継いでいくのか、  
そのことが今、問われています。  
私と一緒に、歩いていただけたら幸いです。

昭和48年 秋田市仁井田生まれ。秋田南高校、秋田大学教育学部卒業。  
秋田県庁を退職後、政治の道へ。県議会議員として二期務める。秋田市横森在住。



- 1 イージス・アショアの新屋演習場への配備に反対。
- 2 次の世代に胸を張って引き継げるスタジアム・アリーナ整備を推進。
- 3 秋田に人と投資を呼び込むため外旭川地区の開発構想を推進。
- 4 子育て世帯への経済支援に加え、「育てやすい」環境づくりを推進。
- 5 働く人の賃金や所得の向上、新たな産業づくりに全力投球。
- 6 防災対策やインフラ整備、河川改修を促進。
- 7 全ての人が安心して暮らせる地域づくりと医療・福祉を充実。
- 8 地域の伝統文化の継承や新たな地域づくりを応援。



ぬまやじゅん  
**沼谷 純**

地域のみなさまの  
ご期待に  
応えられるよう  
全力を尽くします。



## 未来につながる、秋田をつむぐ!

**YOSHINORI'S PROFILE**

昭和32年 (1957年)9月16日生まれ 61歳  
昭和51年 県立秋田工業高校土木科卒  
昭和55年 八戸工業大学土木工学科卒(第1期生)  
平成18年 秋田市都市建設公社採用  
秋田市総合振興公社退職(27年間勤務)  
(有)旭川でんばた会設立 農業経営(水田3.0ha)  
平成19年 県議会議員(秋田市選挙区)初当選  
平成23年 県議会議員(秋田市選挙区)再選  
平成27年 県議会議員(秋田市選挙区)再選  
現在 自由民主党秋田県連合会 政務調査会長  
県議会 建設委員会所属

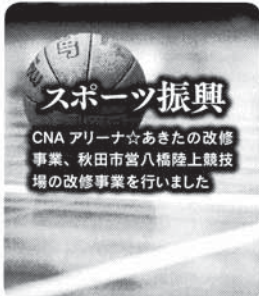
(主なる役職) ● 秋田県日中友好協会副会長  
● 社会福祉法人ともしび会理事  
● 学校法人八戸工業大学評議員  
● 秋田県更生保護協議会理事  
● 秋田工業高等学校同窓会会長  
● 秋田市サッカー協会副会長  
● 秋田市消防団旭川分団部長(勤続28年)

(資格) ● 一般土木施工管理技士 ● 測量士

◎家族構成 両親・妻・長男夫婦・孫2人の8人家族



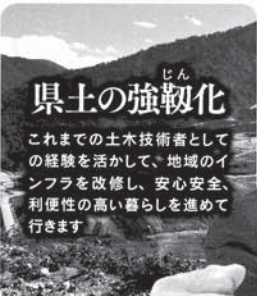
**農業振興**  
米の直接支払制度を活用した組織「旭川の恵み」を立ち上げ、地域の農業・農村の維持・活性化に努めました。



**スポーツ振興**  
CNA アリーナ☆あきたの改修事業、秋田市営八橋陸上競技場の改修事業を行いました。



**市街地の活性化**  
これからは、県外・国外からの観光客や高齢者にも優しい秋田市中心市街地の構築が大事です。



**県土の強靱化**  
これまでの土木技術者としての経験を活かして、地域のインフラを改修し、安心安全、利便性の高い暮らしを進めていきます。

これからも、『県民の声を県政へ! 具体的な提案を県政へ!』  
のスタンスで活動して行きます。

県議会議員として12年間、一般質問と総括質問、合計42回の質疑を県当局と行い、多様な提言を行ってきました。



いわたし のり  
**よしのり**  
自民党公認

## 秋田県議会議員一般選挙

# 投票日 4月7日

投票時間：午前7時～午後8時

期日前投票 / 不在者投票

# 3月30日(土) ～4月6日(土)

- 投票時間は投票所により異なる場合があります。
- 投票所・投票時間の詳細については、ご家庭に送られる投票入場券をご覧ください。



秋田県選挙管理委員会 / 秋田県明るい選挙推進協議会

選びたい秋田のこれから わたしの将来

# 県議選

# 4月7日



なまはげめいすいくん

### 子どもと一緒に選挙に行こう

投票所には18歳未満の子どもと一緒に入場することができます。総務省が18～20歳の男女3,000人に行った調査では、子どもの頃に親の投票についていったことのある人は、ついていったことがない人よりも、投票に行った人の割合が高いという結果が出ています。親子連れ投票は子どもの将来の投票につながっています。